



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月1日

上場会社名 株式会社キングジム
コード番号 7962

上場取引所 東

URL <https://www.kingjim.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 美代子

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 兼 CFO (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年6月21日~2024年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	8,785	7.9	△252	—	△75	—	△218	—
2024年6月期第1四半期	8,144	△6.1	△388	—	△215	—	△229	—

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △389百万円(—%) 2024年6月期第1四半期 20百万円(△95.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年6月期第1四半期	△7.	76	—	—
2024年6月期第1四半期	△8.	03	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2025年6月期第1四半期	35,141		23,715		67.2		841.	06
2024年6月期	35,025		24,301		69.1		861.	90

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 23,628百万円 2024年6月期 24,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00	
2025年6月期	—					
2025年6月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年6月21日~2025年6月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	18,800	5.1	△130	—	0	—	0	—	0.00	
通期	41,000	3.7	530	—	700	437.3	490	—	17.44	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期1Q	31,459,692株	2024年6月期	31,459,692株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	3,365,853株	2024年6月期	3,365,785株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期1Q	28,093,898株	2024年6月期1Q	28,532,916株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。
決算補足説明資料 <https://www.kingjim.co.jp/ir/library/tansin.html>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な金融引き締めに伴う為替変動や継続的な物価上昇の影響により、今後の先行きは依然として不透明な状況にあります。当社がおかれている環境は、国内市場における生産年齢人口の減少やフレキシブルな労働環境、業務の効率化といった働き方の変化に大きな影響を受けております。このような状況のもと、「社会の変化の波をチャンスと捉え新たな成長へ」をテーマに掲げ、第11次中期経営計画(2025年6月期から2027年6月期)の目標達成に向けた取り組みを開始いたしました。既存ビジネスを強化しながら、「サービス事業への展開」「ライフスタイル分野の拡大」「海外事業の強化」の3つの骨太の方針を遂行してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は87億8,517万円(前年同期比7.9%増)となりました。利益面では、売上高の増加と販管費の減少により赤字幅は縮小したものの、営業損失2億5,275万円(前年同期は3億8,850万円の損失)、経常損失7,503万円(前年同期は2億1,570万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億1,807万円(前年同期は2億2,912万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、従来の「インテリアライフスタイル事業」を「ライフスタイル用品事業」に名称変更いたしました。これに伴い、経営管理区分を見直し、従来「文具事務用品事業」に含めていた当社の連結子会社であるウインセス㈱は、「ライフスタイル用品事業」に区分を変更しております。

前年同期との比較は、変更後の区分に基づいております。

① 文具事務用品事業

当社では、お客様と商品の特性に合わせて、主に通販チャンネル・量販チャンネル・文具事務用品チャンネルを通じて商品を提供しております。これら既存のチャンネルに加えて、さらに市場の拡大を図るために、営業と開発、2つの機能を併せ持つ部署(デマンドチェーンクリエーション部)を設立いたしました。デマンドチェーンクリエーション部は、従来のオリジナリティを起点とした商品開発とは別に、販売チャンネルにマッチしたマーケットイン型の商品開発を実現することで、新たな市場の開拓を目指します。既存ビジネスの強化としては、ラベルライター「テプラ」を注力分野と位置づけて、ラベル表示需要の掘り起こしを図るため、販売パートナーとの関係を強化し、各種販促活動を継続的に展開しております。オフィスにおける事務用品としての使用にとどまらず、製造業や教育現場、サービス業、医療・福祉等、さまざまな働く現場に向けて「テプラ」の用途提案を積極的に行っております。また、世の中の防災に対する意識の高まりを受けて、書棚や引き出しに収納可能で、個人で管理しやすい「災害対策セット」や棚・キャビネット等の転倒を防止する「地震対策ゴムストッパー」を家電量販店やホームセンターの店頭、ECサイト等、幅広い売場に展開し、防災用品・地震対策用品の売上が大きく伸びました。

2024年7月には、首掛け式ライトと防犯ブザーがひとつになった、防犯ブザー付きポータブルライト「ポタラ」を発売いたしました。日常時も非常時にも役に立つ商品・サービスに対するフェーズフリー認証を取得しており、暮らしと防災をつなぐアイテムとして、防犯対策、防災対策をサポートしてまいります。また、氷のような見た目の透明スタンプ「氷印(こおりじるし)」、横方向の大きな目盛りで残り時間が一目で分かる「ビジュアルバータイマー」、2024年10月発売の「やわらからせんリング」でリーフの差し替えや追加ができるリングノート「ラセーノ」の3製品は、「2024年度グッドデザイン賞」を受賞し、発売以来ご好評をいただいております。

EC事業では、自社ECサイトやECモールに出店している複数のEC店舗を運営しております。「Latuna(ラチュナ)」では、丸形まな板やダイニングマットのサイズ追加などの新規商材が好調に推移したことにより、売上は順調に拡大しております。

海外事業では、戦略の最重要地域として、中国およびベトナムを中心としたASEAN諸国を挙げております。中国では、SNSやリアルイベントを通じたPR活動が功を奏し、KITTAを中心としたHITOTOKIブランド商品が好調に推移しております。また、外部コンサルタントとの協働でビッグデータの分析に基づいた商品開発を推進しております。ベトナムでは、2023年12月にPC接続専用「テプラ」PRO本体SR5900GSの発売以降、PC接続ならではの多言語対応や対応テープ幅が広がったことから企業向け納品を中心に引き合いが増えております。引き続き、企業向け販路に強みを持つ販売業者との関係を強化して、BtoB商材の商品開発を推進してまいります。

これからも、時代の変化をチャンスと捉え、お客様に合った価値を多様な販売チャンネルでお届けすることに、よ

り一層取り組んでまいります。

この結果、「テブラ」や防災用品等の売上増、EC事業と海外事業の伸長もあり、売上高は51億8,323万円（前年同期比3.4%増）、売上高の増加と販管費の減少により赤字幅は縮小したものの、営業損失2億9,730万円（前年同期は4億7,980万円の損失）となりました。

② ライフスタイル用品事業

㈱ぼん家具では、モール別ではAmazon、商品別では主力の収納家具に加え、注力カテゴリであるキッズ収納用品や照明の販売が好調でした。引き続き、新規カテゴリであるペット用品やトラベル用品などへの商品投入を積極的に進めてまいります。ライフオンプロダクツ㈱では、酷暑の影響により、冷却プレートで身体を直接冷やす機能の付いたハンディファンをはじめ、夏物家電が好調に推移しました。シーズンを迎える冬物商材について、昨年からは好調の充電式カイロや蓄熱式湯たんぽの他、新たに開発したヒーター内蔵のキルティングシリーズにより、さらなる売上増を目指してまいります。㈱ラドンナでは、TV通販などで好調な電子レンジ用グリルパンやOEM受注などが貢献し復調傾向となりました。キッチン家電の新コレクション投入や、来シーズンに向けてさらなる需要の高まりを見据えた夏物商材の拡大などの商品施策と、好調なTV通販・ネット販売の強化および販路開拓を積極的に進めてまいります。㈱アスカ商会では、花類・グリーン類・観葉類がいずれも好調でした。新しい取り組みであるプレミアムコレクションも売上加算になっています。好調な装飾案件を着実に獲得することに加え、展示会視察やホームページ改修による新規顧客の獲得を目指してまいります。ウインセス㈱では、安価な製品群の売上が減少した一方、エレクトロニクス業界と自動車業界は緩やかな回復となりました。今後はサービス業界、量販店など製造業以外のルート開拓も進めてまいります。

この結果、ライフオンプロダクツ㈱と㈱ぼん家具の売上が好調だったこともあり、売上高は36億194万円（前年同期比15.0%増）、為替による売上原価率の上昇などの影響により、営業利益は4,163万円（前年同期比53.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1億1,664万円増加し、351億4,168万円となりました。これは主に、売掛金が減少した一方、商品及び製品や現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して7億240万円増加し、114億2,609万円となりました。これは主に、運転資金需要として短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して5億8,575万円減少し、237億1,559万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少や、第76期期末配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,081,388	6,224,888
受取手形	228,134	227,078
売掛金	5,109,797	4,257,319
商品及び製品	9,692,136	10,485,671
仕掛品	361,939	344,028
原材料及び貯蔵品	1,301,432	1,306,054
その他	581,215	697,716
貸倒引当金	△463	△455
流動資産合計	23,355,581	23,542,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,203,924	6,164,531
減価償却累計額	△4,208,512	△4,209,974
建物及び構築物(純額)	1,995,412	1,954,557
機械装置及び運搬具	3,594,239	3,501,506
減価償却累計額	△3,248,704	△3,184,983
機械装置及び運搬具(純額)	345,535	316,522
土地	1,570,022	1,570,022
建設仮勘定	51,955	65,935
その他	3,225,175	3,202,574
減価償却累計額	△2,896,175	△2,885,228
その他(純額)	329,000	317,345
有形固定資産合計	4,291,925	4,224,382
無形固定資産		
のれん	1,055,692	1,005,677
その他	801,511	865,768
無形固定資産合計	1,857,203	1,871,445
投資その他の資産		
投資有価証券	3,116,368	3,085,642
退職給付に係る資産	1,787,241	1,819,464
繰延税金資産	146,151	136,609
その他	474,928	463,177
貸倒引当金	△4,367	△1,341
投資その他の資産合計	5,520,322	5,503,552
固定資産合計	11,669,451	11,599,380
資産合計	35,025,032	35,141,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901,078	1,374,464
短期借入金	3,530,000	4,270,000
1年内返済予定の長期借入金	437,806	437,806
未払法人税等	269,430	93,245
未払金	808,057	793,329
役員賞与引当金	11,387	750
契約負債	38,730	26,156
その他	1,137,192	1,033,158
流動負債合計	7,133,682	8,028,910
固定負債		
長期借入金	1,738,288	1,521,695
繰延税金負債	913,146	934,773
退職給付に係る負債	500,213	494,404
資産除去債務	30,270	30,323
その他	408,088	415,983
固定負債合計	3,590,007	3,397,180
負債合計	10,723,690	11,426,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,718,919	1,718,919
利益剰余金	21,562,202	21,147,466
自己株式	△2,975,833	△2,975,892
株主資本合計	22,283,979	21,869,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,165,269	1,143,861
繰延ヘッジ損益	2,677	△13,677
為替換算調整勘定	555,801	438,473
退職給付に係る調整累計額	206,525	190,660
その他の包括利益累計額合計	1,930,274	1,759,317
新株予約権	87,088	87,088
純資産合計	24,301,342	23,715,590
負債純資産合計	35,025,032	35,141,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月21日 至 2023年9月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月21日 至 2024年9月20日)
売上高	8,144,336	8,785,176
売上原価	4,953,275	5,537,849
売上総利益	3,191,061	3,247,326
販売費及び一般管理費	3,579,561	3,500,086
営業損失(△)	△388,500	△252,759
営業外収益		
受取利息	5,149	6,257
受取配当金	63,749	54,754
為替差益	77,218	84,321
受取賃貸料	37,291	37,094
その他	11,623	19,783
営業外収益合計	195,033	202,210
営業外費用		
支払利息	10,136	11,930
賃貸収入原価	11,834	11,748
その他	269	804
営業外費用合計	22,240	24,483
経常損失(△)	△215,707	△75,032
特別利益		
固定資産売却益	1,246	—
特別利益合計	1,246	—
特別損失		
固定資産除却損	560	103
特別退職金	10,278	—
特別損失合計	10,838	103
税金等調整前四半期純損失(△)	△225,298	△75,135
法人税、住民税及び事業税	52,588	89,089
法人税等調整額	△48,762	53,854
法人税等合計	3,826	142,943
四半期純損失(△)	△229,125	△218,078
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△229,125	△218,078

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月21日 至 2023年9月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月21日 至 2024年9月20日)
四半期純損失(△)	△229,125	△218,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114,160	△21,408
繰延ヘッジ損益	7,308	△16,354
為替換算調整勘定	138,604	△117,328
退職給付に係る調整額	△10,044	△15,865
その他の包括利益合計	250,029	△170,956
四半期包括利益	20,903	△389,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,903	△389,035

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年6月21日 至 2023年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	ライフスタイル 用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,012,548	3,131,788	8,144,336	—	8,144,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,564	64,345	81,910	△81,910	—
計	5,030,113	3,196,133	8,226,246	△81,910	8,144,336
セグメント利益又は損失(△)	△479,809	90,091	△389,718	1,218	△388,500

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 1,218千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年6月21日 至 2024年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	ライフスタイル 用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,183,236	3,601,940	8,785,176	—	8,785,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,281	60,857	84,138	△84,138	—
計	5,206,517	3,662,797	8,869,315	△84,138	8,785,176
セグメント利益又は損失(△)	△297,306	41,631	△255,674	2,915	△252,759

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 2,915千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「インテリアライフスタイル事業」を「ライフスタイル用品事業」に名称変更いたしました。これに伴い、経営管理区分を見直し、従来「文具事務用品事業」に含めていた当社の連結子会社であるウインセス㈱は、「ライフスタイル用品事業」に区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の名称および区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月21日 至 2023年9月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月21日 至 2024年9月20日)
減価償却費	147,821千円	151,075千円
のれんの償却額	60,140千円	50,014千円